

# 看護部だより

第94号  
平成30年5月25日  
国際医療福祉大学病院看護部

## 2018年4月

51名の新入看護職員が入職されました。皆さん、よろしくお祈りします。



### 歓迎の言葉

ようこそ、国際医療福祉大学病院へ。こころより歓迎申し上げます。  
皆様と私たちの病院は、実習や就職説明会などいくつかの出会いのなかから、  
お互いに、「選びそして選ばれた」と言うことができるのではないのでしょうか。  
国際医療福祉大学病院の職員であることに誇りを持ち、  
ともに Professionalism を追求していきましょう。



福田副看護部長 田口副院長・看護部長 榎田副看護部長

副院長・看護部長

田口 春美



## 周産期センター紹介

### B棟3階病棟



B棟3階病棟は病床数51床の産婦人科、女性混合病棟です。助産師・看護師28名が協働し、平成29年度は439名の新生児が誕生しました。県北医療圏における地域周産期医療センターの役割から、ハイリスク妊娠・分娩が多いことが特徴です。

外来指導やファミリークラス、マタニティヨガ教室を開催し、妊娠期から継続的に関わることで妊婦自身の産む力を引き出し、産後も外来での継続的な支援、ベビーマッサージ教室を開催しています。安心して妊娠・出産・育児の場ができる環境作りを目指し、ばーすはうす・あかちゃんセンター・産科外来・医師や地域とも連携を図り、切れ目のない継続した支援を心がけています。

B棟3階病棟副看護師長 片平 有紀

### あかちゃんセンター

「あかちゃんセンター」はB棟2階にある新生児を対象とした2つのユニットで構成された病棟で、NICU（新生児集中治療室）6床、GCU（回復室）6床の計12床を有しています。

平成30年4月現在、在胎週数32週以上を対象とし、体重2300g未満の低出生体重児、先天性の疾患を持つ新生児、呼吸障害、新生児黄疸等の新生児が入院し治療を行っています。また、周産期センターとしてB棟3階病棟と連携し、生まれてきた赤ちゃんやそのご家族に対し、母乳育児や家族支援に力を入れた看護を行なっています。

スタッフ一同、生まれてきた赤ちゃんとそのご家族のために、日々笑顔で頑張っています。

あかちゃんセンター看護師長 奥村 智美



### ばーすはうす

「ばーすはうす」はB棟2階にある助産師が運営する院内助産施設です。「ばーすはうす」での分娩件数は年間約60件あり、B棟3階病棟で分娩後、産後に利用される方を含めると172名になります。

B棟3階病棟や「あかちゃんセンター」・産科外来と連携し、リラックスできる雰囲気大切に妊婦健診を実践し、分娩のみならず退院後も長期的に子育て支援を行なっています。

また、平成29年7月より他職種と連携し産後ケアを開始しました。理学療法士による骨盤ケアや心理士によるパトリエを取り入れ、ご家族を支援するプログラムになっています。ご自身やご家族、友人の出産・育児の悩み等、お気軽にご相談ください。

ばーすはうす副看護師長 片平 有紀

## 新棟紹介：研究棟

研究棟は、今年3月に竣工した5階建ての建物で、6月の引越しに向けた準備を進めています。研究棟には60～70席の集合医局のほか、医師の研究室が入ります。また一階フロアには実験室が整備される予定です。

管理課 副部長 藤原 綱公

## 編集後記

新年度が始まり2ヶ月が経とうとしています。看護部だより編集委員会でも新たなメンバーを迎え、本格的に活動が始まりました。今年度も皆さんに興味を持っていただける看護部だよりを作り、沢山の方に看護部の活動を知っていただきたいと思います。

看護部だより編集委員長 鈴木 幸江

